

報告日 令和7年9月9日  
報告回次 1回目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	天塩町			代表者名	町長 吉田 忠
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画商工課	連絡先電話番号	01632-2-1729
担当者役職	まちづくり推進係長	担当者氏名	小林 一崇	連絡先E-mail	
住所	098-3398 北海道天塩町新栄通8丁目1466番地の113				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	職員研修事業
概要	窓口の日常業務について、デジタル技術を活用しながら効率化できる人材育成を目的とした職員研修会		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方 行政手続オンライン化		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月31日	講演(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	てしお温泉「夕映」コワーキングスペース	最寄駅	天塩バス停	
	所在地	天塩町字サラキシ5807番地の4	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	昨年度は、当町の管理職を対象に研修いただき、大変好評であった。これまで培ってきた技術や知識を自分の経験談を踏まえながら説明されていたため、だれにでも理解できる研修内容であり、かつ、官民関係なく活用できるフレームワーク及びマインドセット醸成が図られ、受講職員のスキルアップ及びモチベーションの向上につながった。グループワークにおいても的確なアドバイスとファシリテーションにより、各グループの議論を活発化させ、大変有意義な研修となっていた。研修会参加者アンケート実施結果においても、100%が満足していると回答していることから、高評価が確認できる。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	15人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	15	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	人材不足が慢性化する中で、多様化する住民サービスの質を向上させ、かつ業務の効率化を図るために、自治体窓口事務の業務改革は不可欠である。日々行われる業務を洗い出し、デジタル技術を活用するなどして効率化できる処理はないか、業務改革を行う前提としての「気づき」や企画提案の手法、デジタル技術の活用方法など、窓口業務を最適化する知識の習得が急務となっている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和7年度末までに業務改革に必要な機運醸成と簡単な手法の習得を目指す。 将来的には、デジタル技術を活用した窓口業務改革が実施されることで、職員が本来注力すべき企画立案やアウトリーチ、窓口の丁寧な対応に割く時間が確保できるようになり、新たな事業の企画展開や住民と直接関わる機会の創出（対話や相談）並びに窓口サービスの質の向上（待ち時間の減少やワンストップ窓口）につながることを見込む。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	窓口業務改革において必要な現状把握、5W1Hを用いた改革目的の言いかえワークを通じて窓口の課題を整理しながら、デジタル技術の活用の必要性や企画提案の基礎を学ぶことで、庁内の窓口業務改革における機運醸成と窓口職員のスキル向上に向けた支援をいただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXに関する基礎的な知識の向上や民間で一般的に使われている企画提案フレームの活用方法など、DX情勢の理解や物事を進める手法を学び、職員のスキルアップへと繋がった。また、普段のコミュニケーションから相手をへの提案方法を考えること、向き合う意識や目標に向かって取り組む姿勢などの意識改革、前に進むための考え方を学ぶことができた。グループワークにおいては、実際にAIを活用してみることで窓口業務改革の気づきを得たこと、また、窓口業務改革における実際の検討課題をグループワークの研修課題として設定したことから、グループワークの成果物として、今後の窓口業務改革を検討するための基礎資料を得ることができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 当町で組織されている行政改革「窓口改革チーム」において窓口改革を進める上で機運醸成と人材育成につながった。また、グループワーク成果物として、実際の窓口が抱える課題に対する企画概要書を得ることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 当町の行政改革「窓口改革チーム」において、本研修でもたらされた機運と得られた知識を活用し、窓口改革を進めていく。また、グループワークの成果物は、窓口改革を進めるにあたり改革の「たたき台」として活用する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用した窓口業務改革が行われ、職員にも住民にも喜ばれる自治体窓口サービスの構築されること

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  ○掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

